



田原市立泉小学校 令和7年度4月号

令和7年4月30日

泉小だより



学校教育目標 心豊かでたくましい子 ○深く考える子 ○がんばりぬく子 ○助け合うやさしい子

「子どもも 大人も とともに学び合い、力を高め合う」学校づくりを目指して

校長 小笠原 俊範

令和7年度は、23名の新入学児童を迎え、全校児童98名でスタートしました。児童数の減少が進み、昨年度から100名をきっています。今後も同程度の人数で推移する見込みです。小規模校となっていますが、新年度の児童の様子をみると、明るく素直で、何事にも前向きに取り組んでいます。私たち教職員は、小規模校・少人数のよさをいかして、児童を中心にすえた教育活動を展開し、一人一人に寄り添った指導・支援を心がけてまいります。また、泉地区に残る唯一の学校として、現在も泉小学校は保護者・地域の皆様から愛されていると感じております。保護者や地域の皆様のご期待に添えるよう尽力してまいります所存です。

これからの教育を取り巻く状況は、今後もさまざまな面から大きく変わると考えられます。しかし、学校教育において、変わることなく大切にしたいことは、「子どもたちの成長を願い、よりよい社会と幸福な人生を切り拓くための「生きる力」を育むことだ」と考えます。「生きる力」とは、本校の校訓にある「深く考える子（知） がんばりぬく子（体） たすけあう やさしい子（徳）」そのものです。本年度も知・徳・体の調和がとれた「心豊かでたくましい子」の育成を目指していきます。

昨年度に引き続き、泉小では地域とともに地域学校協働本部（協働本部With-me）の活動を推進していきます。そして、コミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置した学校）との一体的な推進を図ります。端的に言い換えれば、コミュニティ・スクールは、「学校応援団」と表現させていただくこともできます。

多くの地域の大人たちが関わることで、子どもの育ちは豊かとなり、将来の地域を担う「ふるさとを愛する人」へと成長していくものと思います。一方では、地域の方々が子どもの成長に関わっていただくことで、泉小が新たなコミュニティの拠点となり、生きがいの一つと感じていただければ幸いです。

本年度の学校経営方針（概略）を紹介いたします。詳細は、ブログに掲載します。

1 学校教育目標

◎ 知・徳・体の調和がとれた心豊かで実践力に富む、心身ともにたくましい子の育成

2 学校経営の方針

- 「持続可能で特色ある学校づくり」に努め、創意と活力に満ちた教育活動を推進する。
- 「地域とともにある学校づくり」に努め、自らを高め、仲間とともに生きる力を育成する。

めざす学校像

「子どもの夢を育てる学校」

◆ 児童が生き生きと活躍する学校

◆ 教職員が生き生きと働く学校

◆ 地域に開かれ、ともに創る みんなの学校

3 令和7年度 泉小スローガン

～ 子どもも 大人も とともに学び合い、力を高め合う ～

— 令和7年度 入学式・始業式 —

4月8日、桜の花が満開に咲き誇り、晴天にも恵まれ、入学式を行いました。新1年生23名（男子12名、女子11名）は元気よく入場し、しっかりと返事をする事ができました。今年もすばらしい1年生を迎え入れることができ、とてもうれしく思います。私からは「命」と「友達」を大切にしましょうと伝えました。

続いて、始業式を行い、全校児童98人に対しては、トーマス・エジソンが、電球の発明に至るまでの数々の失敗について、「点灯しないことの発見は、失敗ではなく、成功であると考えていたこと」「気は体を動かす」ことについて話しました。児童たちが、目標を立て、歩んでいく姿をととても楽しみにしています。

保護者の皆さん、お子さんとの会話を通して、心の様相を見守り続けてくださるようお願いいたします。気になることがありましたら、ご遠慮なく担任・学校までご相談ください。よろしくお願いいたします。



学校からのお知らせ

○ 泉校区合同運動会

日時 5月17日(土) 8:30~12:20

雨天 18日(日)に順延 (→ さらに、19日(月)へ)

代休 5月19日(月)

※ 本年度は、会場に万国旗を飾り、運動会を盛りあげます。

○ 海岸清掃・潮干狩り

日時 5月28日(水) 9:30~13:20

おにぎり弁当の日、アサリ汁(雨でも校内で実施予定)

雨天 29日(木)に順延の場合、給食あり

場所 新江比間海岸

※ ご参加いただける保護者の方は、各自おにぎり、お椀、箸をご用意ください。



— 泉小 ブログ —

児童の活動や様子などをブログにて情報発信をしております。ご覧いただけましたら幸いです。



感謝

3月に、いずみ鉢物園芸組合様から、様々な種類の花苗をいただき、卒業式・入学式を華やかに彩ることができました。関係者の皆様、本当にありがとうございました。